

邦語で読む クザーヌス

— 『クザーヌス著作集』 出版記念シンポジウム —

開催日：

11月7日
(土) 14:00—17:00

会場：上智大学四ツ谷キャンパス
中央図書館9階 L-911会議室

事前申込・不要、無料

パネリスト

矢内義顕

(早稲田大学商学学術院教授)

川崎えり

(上智大学ヨーロッパ研究所特別研究員)

佐藤直子

(上智大学文学部教授・同中世思想研究所所員)

司会

梅田孝太

(上智大学文学部助教・同中世思想研究所所員)



ご挨拶

上智大学中世思想研究所は、2026年5月にニコラウス・クザーヌス（Nicolaus Cusanus 1401-64年）の主要著作を所収した『中世思想原典集成第II期4 クザーヌス著作集・上』『同5同・下』を平凡社より刊行いたしました。

本シンポジウムはこの刊行を記念し、開催するものです。翻訳者を登壇者とし、本邦におけるクザーヌス翻訳の歴史、クザーヌス思想の受容史に触れながら、クザーヌス著作の「読みどころ」「翻訳上の工夫」などを紹介し、改めて、時代の変革期を生きたクザーヌスの著作から今に生きる私たちが何を学ぶことができるのかを考えていきたいと思います。学部生の方、社会人の方のご参加を歓迎いたします。

企画担当・佐藤直子



『中世思想原典集成第II期4 クザーヌス著作集・上』
『同5同・下』 平凡社、2026年6月

登壇者・主要業績

矢内義顕

（早稲田大学商学学術院教授）：
『境界に立つクザーヌス』（共著、知泉書館）、『中世思想原典集成10 修道院神学』（監修、平凡社）、『中世思想原典集成第II期3』（翻訳、平凡社）、K・フラッシュ『ニコラウス・クザーヌスとその時代』（翻訳、知泉書館）

川崎えり

（上智大学ヨーロッパ研究所特別研究員）
「クザーヌス『知恵の狩猟』における posse fieri 概念の検討」（『中世思想研究』第67号、2025年）、「なぜ〈可能現実存在〉は〈可能そのもの〉に劣るのか——De apice theoriae を巡る一考察」（『中世思想研究』第65号、2023年）

佐藤直子

（上智大学文学部教授・同中世思想研究所所員）：
『中世思想原典集成精選』（全7巻、企画監修、平凡社ライブラリー）

梅田孝太

（上智大学文学部助教、同中世思想研究所所員）
『ニーチェ——外なき内を生きる思想』（単著、法政大学出版局）

